

# 中京院中京、初の4強

▷全国高校野球選手権準々決勝(18日・甲子園)

作新学院	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
中京学院大	0	0	0	0	0	0	2	4	X			6

# 作新学院に逆転勝ち

第101回全国高校野球選手権大会第12日は18日、甲子園球場で準々決勝が行われ、県代表で3年ぶり7度目出場の中京学院大は中京は第2試合で作新学院(栃木)に6-3で逆転勝ちし、春夏通じ、中京初のベスト4入りを果たした。県勢の夏4強は2009年の県岐阜商以来10年ぶり。



中京院中京×作新学院＝8回裏中京院中京無死満塁、逆転本塁打を放ち歓喜で生還する元＝甲子園

中京は相手先発林勇成を打ちあぐんでいたが、3点を追う七回、井上楨士、中原愛斗の適時打で1点差に迫った。八回には先頭から3者連続の四球に続き、元謙太が左越えに劇的な満塁本塁打を放ち、逆転した。

先発のエース不後祐将は一回に3ランを浴びた後は粘り強く投げ抜いた。五回から継投した2年生右腕の元も、長身右腕赤塚健利のワンポイントリリーフを仰いだ。反撃を封じ、投打にわたる活躍で3試合連続の逆転勝ちに導いた。

中京の準決勝は20日、第13日の第2試合(午前11時30分開始予定)で星稜(石川)と対戦する。